

令和3年度

下野市

図書館評価報告書

令和4年7月

下野市立図書館

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 総合評価（外部評価）	4
3. 図書館協議会委員による意見.....	5
4. 総評.....	7
5. 図書館協議会委員名簿.....	8
6. 図書館協議会会議の開催	8

関係資料

- ・ 図書館基本計画（第二次）成果指標
- ・ 下野市図書館月別利用統計

1. はじめに

(1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入されました。平成29年度からは南河内図書館を含め市内図書館3館全てが指定管理者制度の導入となりました。図書館の市職員と指定管理者がともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

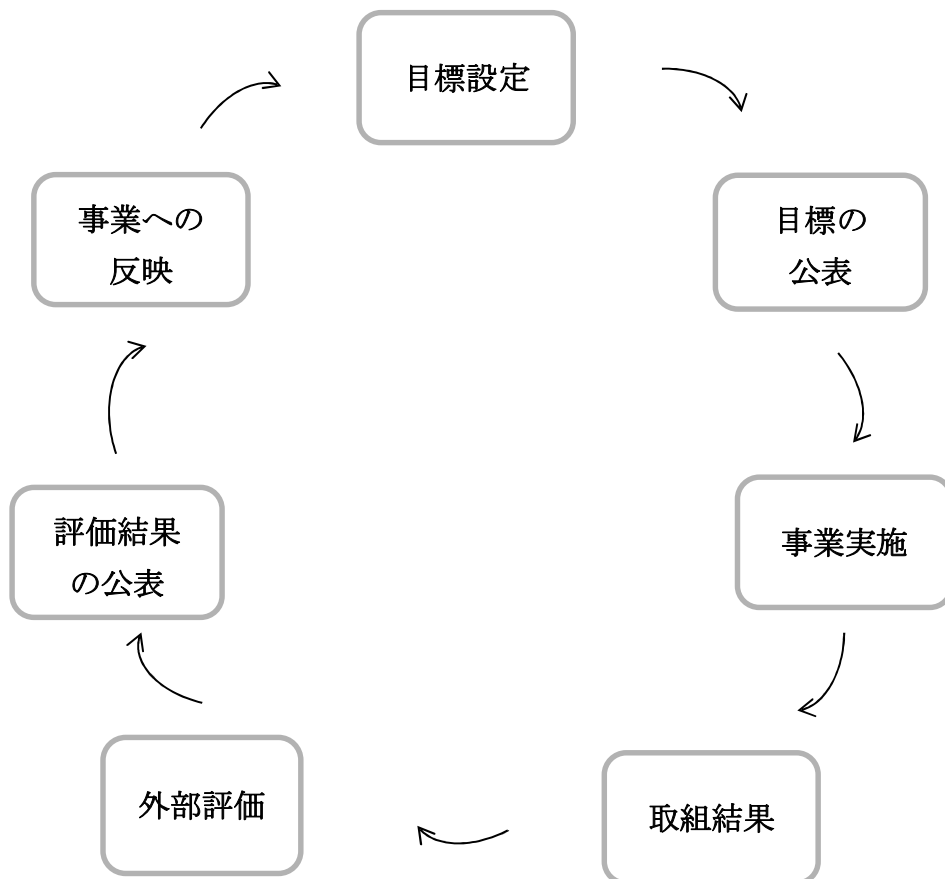
(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施し、外部評価をもって総合評価といたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と16の中項目に分類したうえで、36の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし、評価してまいりました。

「取組結果」に応じて《評価基準》の中項目の評価基準によりA～Dを決定し各中項目の評価を決定いたしました。

図書館評価のながれ



《評価基準》

小項目＝参考

評 価	評価内容及び基準
A	計画通り事業を実施し、目標水準を超える成果がある。
B	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

総合評価（外部評価をもって総合評価とします。）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

2. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	石橋図書館	国分寺図書館	南河内図書館
I と知 識 し て の 情 報 の 館 拠 点	1.市民の要望に応えることができる 多様な蔵書の充実	1.資料の収集と保存	A	A	A
		2.市民ニーズを把握した図書の収集			
	2.ICT等の活用による情報提供の充 実	1.ホームページの活用	A	A	A
		3.サービスの提供の向上	1.インターネットによる調べ物の支援 2.より容易で効率的な資料・情報の提供	B	A
II 子 ど も の 読 書 活 動 を 推 進 す る 図 書 館	1.学校との連携による子ども読書活 動の充実	1.学校図書館支援	A	A	A
		2.小学校への読書普及活動の充実			
	2.家庭での読書活動の支援	1.親子で読書を楽しむきっかけづくり	A	A	A
		2.子ども読書活動の促進と普及活動			
		3.図書館情報の周知			
	3.子どもの読書活動推進のための読 書環境等の充実	1.児童書の充実	B	A	A
		2.小中学生向けの講座や読書案内の充実			
		3.点字絵本やLLブック、外国語図書の収集 ・提供			
		4.児童書の貸出冊数、市内各小学校等、 関係団体への団体貸出冊数			
	III 利 用 し や す く 役 立 つ 図 書 館	1.柔軟な運営体制の構築	1.図書館評価	A	A
2.民間企業の図書館活動への参加					
2.利用者の課題解決に役立つ レファレンスサービス機能の充実		1.レファレンスサービス	A	A	A
		2.レファレンス受付件数			
		3.相互貸借			
3.利用者の要望に応じたサービスの充 実		1.図書館サービスの充実	A	A	A
		2.所蔵資料の活用			
		3.リサイクル			
4.誰もが利用しやすい図書館 サービスの提供		1.乳幼児・児童サービス	A	A	A
		2.高齢者サービス			
		3.障がい者サービス			
		4.外国人へのサービス			
IV と な 郷 土 の 歴 史 と 文 化 の 図 書 館 拠 点 か	1.地域情報の収集、保存、提供	1.地域資料・行政資料	A	A	A
	2.郷土資料の積極的な収集、保存、 提供	1.郷土資料	A	A	A
		2.歴史館・資料館等との連携 3.地域ゆかりの関係資料			
V 図 市 民 と と も に あ る	1.生涯学習の機会や交流の場の提 供	1.図書館ボランティア	A	A	A
		2.レファレンス室資料の充実			
		3.開かれた図書館			
	2.市民との協働を推進し、市民と ともにある図書館づくりの実現	1.ボランティアの養成と支援	A	A	A
		2.市民協働事業			
	4.利用者への接遇の向上	1.職員の接遇と人材育成	A	B	A

3. 図書館協議会委員による意見

(1) 石橋図書館

- ・全国に先駆けてライブラリーブックサーカスを開催し、多くの市民の参加が得られたことは大いに評価できる。
- ・ライブラリーブックサーカスの成功、素晴らしかったと思う。「利用者の皆さんに楽しんでもらえて、気軽に利用できる図書館であってほしい」という気持ちを感じられた。
- ・郷土資料の受入冊数が前年度に比べて大幅に増加したことは、石橋図書館の特色を強める上で良い取組結果だと思う。
- ・利用者のレファレンスに応じ、県内図書館のみならず国立国会図書館の資料を提供したことは評価できる。
- ・郷土資料や地域に関する資料を活用した講座・企画を積極的に行っていることは、石橋図書館の特色づくりに活かされていると考える。
- ・図書館サポーターに中学生2名を含む5名の新規加入があったことは評価できる。
- ・下野市は非核平和都市宣言しているまちであり、原爆パネル展を夏休みに開催したことは実にいい取り組みだと思う。
- ・絵本専門士を活用した展示は、とてもよい企画だと思う。
- ・令和3年度のライブラリーブックサーカス、原爆パネル展等、興味深かった。令和4年度の企画も楽しみである。

<課題>

- ・来年度新設される石橋複合施設と連携した各種イベント等の工夫、市民への情報発信を期待する。
- ・石橋公民館がリニューアルされ、中高生の学習の場も充実することから、近くにある石橋図書館との連携を期待する。
- ・外部団体を活用して効果的だったイベント等は、その手法を今後の図書館活動に活かすと良い。

(2) 国分寺図書館

- ・本の紹介ポップコンテストは利用者参加型でインパクトがあり、読書への関心と図書館の魅力が増したと思う。
- ・YA（ヤングアダルト）向け資料の充実は、若者の読書習慣定着や国分寺図書館の特色づくりの上で大変有効な取り組みだと考える。
- ・自治医大コーナーをはじめとする医療関係資料や、郷土に関する資料を収集、活用することは、国分寺図書館の図書館づくりにも生かされると思う。
- ・市民の関心が高く国分寺図書館の特色を活かした自治医大予防医学講座を、コロナウイルス感染症対策により集合型での開催ではなく、講師作成の予防対策プリントの配布と、来館者の質問に講師が回答する形の2段階で実施したことは評価できる。
- ・児童書貸出・団体貸出冊数の前年度比が約1.5倍である実績は、高く評価したい。
- ・紙芝居講座の開催により、ボランティア3名の新規加入に繋がったことは大変良かった。
- ・国分寺図書館45周年記念として、ボランティアが図書館の花壇で育てた花を活用したドライフラワーを利用者へプレゼントしたことはとても良い取り組みである。
- ・ホームページ、SNS等のフォロワー数が増加したことは、魅力ある内容の情報発信による成果の表れだと思う。
- ・玄関ロビーの展示はとても効果的だと思う。展示書籍の中から1冊、2冊と借りたくなる。

<課題>

- ・YA（ヤングアダルト）向けの資料はたくさん出版されており選定も難しいと思うが、色々なジャンルを揃えて欲しい。
- ・レファレンスサービスに対応できる資料の充実と、スタッフの資質向上に期待する。
- ・エレベーターの設置を強く望む。

(3) 南河内図書館

- ・南河内図書館の特色である児童書の充実に努めている。利用者アンケート調査でも評価されており、大変結構である。
- ・下野薬師寺住職による講座は南河内図書館の地域の強みを活かした良い取り組みである。南河内図書館の特色づくりにも活かされると思う。
- ・小学校への読書普及活動が充実していると考ええる。保護者の継続的な協力も評価できる。
- ・「赤ちゃんといっしょ」等、乳幼児をもつ親への働きかけは、子どもたちの読書活動につながる素晴らしい企画である。
- ・読み語りボランティア養成講座の継続開催は、ボランティアのスキルアップや新しいボランティアのリクルートにもつながっていると思う。今後も講座の内容と講師の充実を図り実施されることを期待する。
- ・地理的に少し離れている南河内東公民館と連携して、公民館講座の際に出張図書館を実施すると共に、貸出しのみならず子ども向けの大型絵本の読み聞かせを実施したことを評価したい。
- ・「子どもの本にまつわる思い出エピソード」は利用者で作り上げる展示であり、有意義だと思う。継続を願う。
- ・児童コーナーの絵本大賞選出絵本や教科書掲載の関連本等のピックアップが大変利用しやすい。
- ・児童書のスペースがゆったりとしていてとても良い。図書館全体が落ち着いた感じで居心地が良い。

<課題>

- ・南河内小中学校が隣接となり図書館へのニーズが増えると思われるので、学校への読書支援の更なる充実を望む。
- ・学校教育活動関連の蔵書が多くひとつのコーナーになっている。南河内小中学校と近いことから、これら教材研究にもなる資料についても今後も選書していただきたい。
- ・取り組み実績や結果の表現をもう少し具体的に表現していただくと、さらに評価が高くなると思う。

(4) 全図書館

- ・3館共通サービスとして読書通帳の企画はとても良いことであり、図書館利用の活性化に大いに役立つと思う。
- ・伊藤忠記念財団によるデジタル図書資料「わいわい文庫」を取り寄せ、データ登録したことは大いに評価できる。
- ・おすすめ図書ガイドは児童・生徒にとって非常に参考になると思う。ジュニアリーダースクラブの協力を得て作成・配布したことは大変意義がある。
- ・市民とともにある図書館づくり、学校との連携、特色ある図書館づくりによく努力されていると思う。
- ・取り組みについては3館どこもよく努力し、実施していると思う。
- ・図書館だよりは各館の情報が載っており、見やすく楽しい。
- ・利用者の利便向上を図り、利用者の増加を図っていくためにも、室内環境や施設の整備は重要である。水道蛇口のハンドル型から非接触型への交換やトイレの洋式化等を進めているのは評価できる。
- ・コロナ禍に際し、安心安全に利用できるよう環境が改善された事はとても良い結果だと思う。

<課題>

- ・市民に向けたインターネットによる図書館活用の講座等も企画して欲しい。
- ・相互貸借統計は県内図書館からの借受件数だけでなく、他館への貸出件数も報告して欲しい。
- ・図書館ボランティア活動の人数が伸び悩んでいるのは大変残念である。ボランティアの入口である養成講座の充実と周知に更に努めていただきたい。
- ・照明の暗いところは明るくなるよう機器を交換したほうがよい。施設の設備はお金もかかり難しいところもあるが、図書館は居心地がよいことも大切なので、対応をお願いしたい。
- ・ポストコロナに向けた利用者サービスの最適化を図ることを望む。

4. 総評

図書館協議会の総合評価（外部評価）において、各図書館とも概ね適正に運営がされていると評価します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、図書館3館の水道蛇口の非接触型への交換、南河内図書館1階トイレの洋式化を実施し、感染症対策と衛生環境改善を図り、更なる安心安全の整備ができました。また、図書館基本計画の基本施策でもあるWi-Fi環境の全館導入を実施しました。これらにより市民サービスの向上を図ることができたと考えます。

事業については、YA（ヤングアダルト）向け小冊子を、3館ボランティア団体の他、ジュニアリーダーズクラブと共同で作成し、市内中学校だけでなく石橋高校へも配布したことはとても良い取り組みでありました。

また、全国で初めて開催したライブラリーブックサーカスは、ボランティア・市民団体・行政等の協力で多くの人に図書館をアピールできたことは画期的であり、図書館利用者の増加に繋がるだけでなく、市のPRにもなりました。

コロナ禍で事業が縮小している中、それぞれの図書館がレイアウトを工夫する等、できる範囲で利用者サービスに務めており、目標数値に到達しなかったとしても、その取り組みは大いに評価できると思います。

しかしながら、三密を避ける等の感染対策を講じながら、図書館利用へと繋げるには努力が必要であり課題であると言えます。コロナ禍により中止となった事業も令和4年度は開催でき、図書館サービスの充実に努め、市民により身近な図書館となるよう期待します。

5. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等	備考
青木 ムツミ	学識経験者	
鈴木 一恵	学識経験者	
大垣 玉枝	学識経験者	
晴山 育子	石橋図書館ボランティア	令和3年度委員
星野 輝世	石橋図書館ボランティア	令和4年度委員
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア	
松本 有幸	南河内図書館ボランティア	
高木 智子	公募委員	
小林 直子	公募委員	令和3年度委員
黒川 厚子	公募委員	令和4年度委員
設楽 孝男	南河内第二中学校長	令和3年度委員
伊澤 敏子	しば保育園長	令和4年度委員
高橋 修一	国分寺小学校長	

6. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり会議を開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
令和3年 1月19日(水)	取組結果のプレゼンテーション
令和4年 3月 9日(水)	外部評価実施について
令和4年 5月26日(木)	外部評価実施について
令和4年 7月13日(水)	評価結果報告・公表について

関 係 資 料

- ・ 図書館基本計画（第二次）成果指標
- ・ 下野市図書館月別利用統計

【図書館基本計画(第二次)成果指標】

(1) 知識と情報の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	人口一人当たりの 貸出冊数(冊)	5.9	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7
	実績		5.3	5.8				
2	図書館ホームページへの アクセス数(件)	486,090	505,080	563,340	572,510	581,670	590,840	600,000
	実績		554,179	561,076				

(2) 子どもの読書活動を推進する図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	児童書の個人貸出冊数(冊)	151,873	153,230	154,580	155,940	157,290	158,650	160,000
	実績		141,103	160,434				
2	市内各小学校等、関係団体へ の団体貸出冊数(冊)	20,137	21,780	23,430	25,070	26,710	28,360	30,000
	実績		16,040	18,341				

(3) 利用しやすく役立つ図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	レファレンス受付件数(件)	6,393	6,460	6,530	6,600	6,670	6,730	6,800
	実績		5,592	7,570				
2	利用者アンケートによる 図書館の満足度(%)	87%	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90%以上
	実績		90.0	89.0				

(4) 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	郷土資料の所蔵数(冊)	8,838	9,030	9,230	9,420	9,610	9,810	10,000
	実績		8,960	9,385				

(5) 市民とともにある図書館

	指 標	現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
1	講座・講演会等の事業 参加者数(人)	6,153	6,260	6,370	6,480	6,590	6,690	6,800
	実績		4,248	9,936				
2	図書館ボランティア 活動人数(人)	118	120	122	124	126	128	130
	実績		113	107				

令和3年度 下野市図書館月別利用統計

R4年3月末現在

月	貸出人数(人)			入館者数(人)			貸出数(冊)		
	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内
4	2,737	2,304	1,542	6,526	4,501	3,235	9,132	10,540	7,694
5	3,113	2,490	1,630	7,947	4,587	3,312	11,409	11,578	8,310
6	2,579	2,370	1,786	6,081	5,416	4,197	8,969	10,623	9,939
7	2,917	2,613	1,907	10,150	5,427	4,168	10,152	11,770	9,604
8	3,605	2,906	2,303	8,815	6,005	4,755	13,467	14,133	11,726
9	489	97	39	0	0	0	812	1,321	153
上半期	15,440	12,780	9,207	39,519	25,936	19,667	53,941	59,965	47,426
10	3,029	2,674	1,970	7,820	5,074	3,974	11,820	12,822	11,474
11	3,024	2,138	1,544	7,388	4,318	3,361	11,004	10,371	8,181
12	2,796	2,269	1,536	6,434	4,315	2,839	9,681	10,603	7,948
1	3,054	2,303	1,677	6,501	4,499	3,029	10,544	10,911	9,341
2	3,101	2,388	1,576	6,997	4,764	3,249	10,602	11,262	8,511
3	3,197	2,478	1,653	7,008	5,078	3,401	10,494	10,872	7,758
下半期	18,201	14,250	9,956	42,148	28,048	19,853	64,145	66,841	53,213
計	33,641	27,030	19,163	81,667	53,984	39,520	118,086	126,806	100,639
R2年度	31,049	25,688	16,373	67,149	45,421	31,706	114,227	119,176	85,553
対比	108%	105%	117%	122%	119%	125%	103%	106%	118%
合計	79,834			175,171			345,531		

開館日数	281	283	272						
日平均	120	96	70						
月平均	2,803	2,253	1,597	6,806	4,499	3,293	9,841	10,567	8,387

◎新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する開館状況

- ・令和2年11月25日(水)～ レファレンス室(コーナー)の学習席等、座席数制限・入替制で利用
- ・9月1日(水)～9月30日(木) 国の緊急事態宣言を受け全館臨時休館
- ・10月1日(金)～ 通常開館

※石橋図書館 6月15日～6月19日 蔵書点検の為休館
 ※国分寺図書館 11月8日～11月12日 蔵書点検の為休館
 ※南河内図書館 9月18日～9月26日 蔵書点検
 (当初予定9/28～10/6を前倒して臨時休館中に実施)